

## 第6学年 国語科学習指導案

児童 男10名 女14名 計24名  
指導者 室井 博

- 1 研究主題 確かに読み取る力を育てる指導のあり方  
—— 読むことの系統性をおさえた指導（一人学び・学び合い）を通して ——
- 2 単元名 『筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう』  
(教材名 「平和のとりでを築く」 )

### 3 単元について (1) 児童について

児童は、一学期教材『生き物はつながりの中に』で説明的文章を学習し、文章構成を意識しながら意味段落の要約を行い筆者の主張を読み取ってきた。その後には、筆者の主張に対する自分の考えをもち、互いに考えを発表し合った。その結果、単に読み取るだけでなく、自分の考えをもちながら読むこと、考えを文章化して発表すること等、全体で読みの技能を身につけながら学習し力をつけていくことができた。

事前テストの結果は、文章構成をつかむ問題で正答率が38%、意味段落の要約をする問題で52%、文章全体の要旨をとらえる問題で52%という結果だった。1学期に実施した事前テストにおいては文章構成図を書く問題で正答率が13%、文章全体の要旨を書く問題では、正答率が39%だったことを踏まえると、一学期教材を学習したことで全体的に読む力が向上している傾向が伺えるものの、依然として正しく要旨をとらえられる子とそうでない子との力の差が大きいのが現状である。

### (2) 教材について

高学年における「C読むこと」の目標は「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる」である。

本単元は、「平和」に関する説明文教材を事実と意見を区別しながら読むこと、必要な材料を集めて文章にまとめること、それを発信する学習等から構成されている。「平和のとりでを築く」を読み取るとともに、「平和」というテーマに関わる多様な情報を集め、自分なりの考えをもち、発信していくという流れにおいて、「発信」に重点を置いた情報活用単元の総仕上げに位置づけるものである。

本教材は、原子爆弾によって傷だらけとなった物産陳列館が、多くの人々の平和を願う心によって、世界遺産「原爆ドーム」となった経緯を述べた文章である。日本人としてぜひ知っておきたい史実と、それが世界の遺産となった意味についての筆者の考えをつかんでいくことで「平和」について考えることができる教材である。

### (3) 指導について

本教材を学習するにあたり、小学校6年間の集大成として位置づけられている単元構成を念頭に置き、確かに読み取る学習の段階を踏まえて指導にあたっていきたい。まず、文章構成を確認し、意味段落毎に共通課題を設定することで読みの視点を一人一人にしっかりともたせていきたい。読み取り学習においては、事実と筆者の考えとを区別して読み取らせていく。あわせて、「戦争」や「平和」に関する本を並行読書し、教材文を読み取るうえでの知識を補いながら、自分なりの考えをもたせていきたい。筆者の訴えを深くつかむためにも、一人学びからグループ・ペア学習での意見交流を毎時間行っていく。この後、自分の考えをもとに「平和」について発信していく学習となるため、毎時間戦争に関わる本などの紹介も行っていく。また、授業のみならず、日頃から問題意識がもてるよう教室掲示等を工夫していきたい。

#### 4 単元の目標

##### (1) 関心・意欲・態度

筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって読んだり話し合ったり、書いたりしようとする。

##### (2) 読むこと

「平和のとりでを築く」という題名が意味することに注意しながら読む。(イ)  
筆者の考えをまとめ、自分はどのように考えるかをまとめる。(エ)

##### (3) 書くこと

「仮の要旨」から「確定した要旨」への過程で必要な材料を選び直す。(イ)  
自分の考えを明確に表現するために、効果的な文章の組み立てを考える。(ウ)  
事実と意見を区別して書いたり、対立する意見を取り上げて反論を述べたりする。(エ)

##### (4) 言語に関する目標

文章にはいろいろな構成があることを知り、適切なものを考える。(オ)

#### 5 単元の評価規準(身につけさせたい力:基礎・基本)

|         | 関心・意欲・態度  | 読むこと  | 書くこと  | 言語事項   |
|---------|---|---|---|--|
| 単元の評価規準 | 筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって読んだり、話し合ったり、書いたりしようとしている。 | 戦争や平和に関する図書資料を選んで読んでいる。<br>筆者が訴えたいことを読み取る。<br>書かれている内容について、事例と筆者の考えを、筆者の訴えに対する自分の考えをもちながら読む。<br>必要な本を十進分類法で探したり、目的に応じて、速読やくらべ読みなどを適宜用いたりしている。 | 全体を見通して、書く必要のあること柄を整理している。<br>自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組み立ての効果を考えている。<br>事象と感想、意見などと区別して書いている表現の効果などについて確かめたり工夫したりしている。 | 新出語句や事項について自ら調べている。<br>文章全体のおおまかな構成と、部分の役割を理解している。 |

#### 6 指導計画と評価規準(全14時間)

| 段階 | 学習活動   | 時間 | 評価規準  |                                     |    |                               |
|----|--|----|---|-------------------------------------|----|-------------------------------|
|    |  |    | 関心・意欲 態度                                    | 読む                                  | 書く | 言語事項                          |
| 一次 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元名、リード文、題名から学習の見通しをもつ。</li> <li>・全文通読</li> <li>・初発の感想</li> <li>・教科書の単元構成に目を通し、学習計画を立てる。</li> <li>・言語事項</li> </ul> | 1  | 興味をもって読み、戦争と平和について初めて知ったことなどを進んで発表しようとしている。 | 全文通読を通して、内容の大体をつかみ、学習の見通しをもつことができる。 |    | 難解語句等ることができる。                 |
|    |  | 1  |   | これから読んでいくうえで、自分の読みの視点をもつことができる。     |    | 単元全体に目を向け、おおまかな構成をとらえることができる。 |

|        |        |  |   |  |  |   |
|--------|--------|--|---|--|--|---|
| 二<br>次 | ふかめる   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第一段落から筆者の思いを読み取り、文章全体の構成をつかむ。</li> <li>・ ~ 段落を読み、原爆ドームの歴史について読み取る。</li> <li>・ ~ 段落を読み、世界遺産への道のりについて読み取る。</li> <li>・ 段落を読み、まとめの段落から筆者の訴えとその根拠を読み取ることができる。</li> </ul> | <p>1 筆者の考えについて興味をもち、進んで読み取ろうとしている。</p> <p>2 筆者の考えについて興味をもち、進んで読み取ろうとしている。</p> <p>1 筆者の考えについて興味をもち、進んで読み取ろうとしている。</p> <p>1 筆者の考えについて興味をもち、進んで読み取ろうとしている。</p> | <p>筆者の思いについて読み取ることができる。</p> <p>原爆ドームの歴史について読み取ることができる。</p> <p>世界遺産への道のりについて読み取ることができる。</p> <p>筆者の訴えの根拠を読み取ることができる。</p> | <p>文章全体のおおまかな構成をとらえることができる。</p> <p>部分の役割をおさえることができる。</p> <p>部分の役割をおさえることができる。</p> <p>部分の役割をおさえることができる。</p> |   |
|        | 三<br>次 | まとめる   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の読みを見直し、筆者の伝えたいことに対しての自分の考えをまとめる。</li> </ul>   | <p>1 筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもとうとしている。</p>  | <p>読み取ったことをもとに、自分の感じ方・考え方を明確にして自分の考えをもつことができる。</p>   | <p>文章全体の構成と部分の役割を正確にとらえている。</p>   |
|        | 四<br>次 | ひける  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦争や平和について話し合う。</li> <li>・ 発信する目的と相手、課題、方法を決める。</li> </ul>  | <p>2 「平和のとりでを築く」の内容を意識しながら、「平和」について読んだり、話し合ったり、書いたりしようとしている。</p>   | <p>自分の意見が伝わるように組み立てを考えている。</p>   | <p>書くうえで段落の組み立て方を理解している。</p>  |
|        |        | げ<br>る   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えを「仮の要旨」としてまとめ、それに説得力をもたせる材料を集める。</li> <li>・ 自分の考えを書きまとめる。</li> </ul>  | <p>2 自分の考えを支える資料を集め、自分の考えを進んで書きまとめる。</p>   | <p>自分の要旨に説得力をもたせるために必要な材料を集めている。</p> <p>具体的事例と意見、反対意見とそれに対する反論文などを、読み手に分かるように書き分けている。</p>                  | <p>語句の構成などに注意して仮名遣いを正しく表記している。</p> <p>段落のさまざまな組み立て方を理解し、文章を書く際に目的や意図に応じて活用している。</p> |
|        |        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとめたものを発信する。</li> <li>・ この単元の学習をまとめる。</li> </ul>  | <p>2 自分の学習に対して達成感、満足感を感じたり、学習した意味を見いだしたりしている。</p>   | <p>表現の工夫などについて確かめることができる。</p>  | <p>誤字、脱字などに注意して文章を構成することができる。</p>  |   |

7 本時の指導

(1) 目標

- 筆者の考えについて興味をもち、進んで読み取ろうとしている。(関心・意欲・態度)
- 筆者が訴えたいことをとらえることができる。(読むことイ)
- 段落がもつ役割を理解することができる。(言語事項)

(2) 具体の評価規準と手だて

|    | A：十分満足                                  | B：概ね満足   | C：努力を要する                               |
|----|---|--|--|
| 読む | 筆者の考えの根拠を文中の言葉を用いて簡潔にまとめ、自分の考えも文章化している。 | 筆者の考えの根拠を文中の言葉を用いて簡潔にまとめている。<br>(「戦争は人の心の中で生まれるもの」<br>「それを見る人」「平和のとりでを築く」) | ヒントカードなどを使って重要語句をつかませ、筆者の考えの根拠をとらえさせる。 |

(3) 本時の授業仮説(研究主題との関連)

一人学びにおいて、今まで学習してきた文章から筆者の考えの根拠を中心文をもとに書き込むことで考え、学び合いにおいては、はじめにペア学習で互いの考えたことを話し合って確認し、次に中心文のもつ意味を全体で確認することで筆者がそう述べる意図を確かに読み取ることができるであろう。

(4) 展開

| 段階   | 学習内容・子どもの活動   | 時間  | 教師の働きかけ・評価<br>(主発問・留意点 個別の支援 評価)  |  |
|------|---|-----|---|--|
| みとおす | 1 前時を想起する。  | 3分  | ・前時までにつかんできた原爆ドームの歴史等について振り返る。  |  |
|      | 2 本時の課題の確認。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     筆者はなぜ、「原爆ドームは、それを見る人の心の中に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ」といっているのか。                 </div> |     |   |  |
| ふかめる | 3 読みの見通しをもつために音読する。<br>(指名読み)   | 31分 | ・今日は、筆者の主張が書かれている段落を中心に扱うことを確認する。<br>・音読は全文読みとし、今までの学習で学んだ内容を振り返らせる。<br>・読むの視点をもたせるうえで、第12、第13段落が文章構成上どんな意味をもつ段落か確認する。<br>第12、第13段落のもつ役割を理解できているか。<br>(言語事項)<br>では、一人学びで筆者がそう述べる根拠を考えましょう。<br>・まず、中心文をノートに視写し、その中の大事な言葉にサイドラインを引く。その後、引いた言葉のもつ意味、自分の考えを書き込みさせていく。<br>自力で要点をつかめない子には、ヒントカードに記入させる。 |  |
|      | 4 各々の視点に沿って読み深める。<br>(一人学び)   |     |   | では、まず中心文に書き込んだことをペアで確認し合おう。<br>・声に出して考えを交流することで、他者の考えと自分の考えを確認させる。<br>うまく書き込めなかった子でも、他者の考えを聞いて気づく機会とする。<br>では、みんなで中心文について考えていこう。<br>・「原爆ドームは～世界の遺産なのだ」にある言葉について一 |
|      | 5 とらえたことをもとに、学び合う。<br>(学び合い)  |     |   |  |

|                  |   |     |  |
|------------------|---|-----|--|
|                  |   |     | <p>人一人の考えを出し合わせ、筆者がそう述べる根拠を確かにつかませていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の示す意味から筆者の根拠を正しくつかませていく。</li> </ul> |
| ま<br>と<br>め<br>る | 6 分かったことをまとめる。  | 11分 | <p>なぜ、筆者はそういうのかをノートにまとめよう。</p> <p>筆者の訴えの根拠をまとめるに書くことができたか(読むこと)</p>  |
|                  | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>戦争は人の心の中で生まれるものだから、核兵器の禁止や平和な世界の実現に向けて人の心に平和を訴える原爆ドームは欠かせないから、</p> </div> |     |  |
|                  | 7 まとめの音読(一斉読)   |     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のまとめとして、13段落を一斉読みする。</li> </ul>  |
|                  | 8 自己評価  |     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返りノートに記入する。</li> </ul>   |
|                  | 9 次時の学習内容を知る。   |     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・次の時間は筆者の訴えを受けて自分の考えをまとめていくことを知らせる。</li> </ul>                                    |

(5) 板書計画

平和のとりでを築く

中村 桂子

筆者はなぜ、「原爆ドームは、それを見る人の心の中に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ」といつているのか。

- ・物産陳列館
- ・記念碑

平和のとりで

世界中の人々

原爆ドームは、それを 見る人の

- ・戦争
- ・平和

心の中に 平和のとりでを

- ・戦争のとりではいけない

築くための 世界遺産なのだ。

- ・後生に語りつぐもの

- ・戦争も平和も人の心から

平和な世界の実現に欠かせない

戦争は人の心の中で生まれるものだから、核兵器の禁止や平和な世界の実現に向けて人の心に平和を訴える原爆ドームは欠かせないから、